ひきこもり等支援に関する講演会

8050問題を考える

“親子から⇒人から人へ”

参加費無料

80代の親が、50代のひきこもりの子どもの面倒を見ているという「8050問題」。内閣府の調査(2019年)によれば、40～64歳までのひきこもりが約61万人で15～39歳の約54万人を上回ることが判明。なぜ、ここまで、ひきこもりは長期化したのか。取材現場から見えてきた事実から、解決の糸口を探りたい。

講　師

くろかわ　しょうこ
黒川 祥子氏

福島県生まれ。ノンフィクション作家。家族や子どもの問題を中心に取材・執筆活動を行う。2013年、「誕生日を知らない女の子　虐待ーその後の子どもたち」(集英社)で第11回開高健ノンフィクション賞受賞。
近著に、故郷を描いた「心の除染　原発推進派の実験都市・福島県伊達市」(集英社)、日本テレビで2時間ドラマ化された「再チャレンジ高校　生徒が人生をやり直せる学校」(講談社現在新書)、「8050問題」(集英社)、「シングルマザー、その後」(集英社新書)など。

日時：2024年 **3** 月 **23** 日（土）　日の変更しました
１３時受付　１３時３０分講演開始～１５時

場所：富山市総合社会福祉センター大ホール　会場変更しました
[富山市社会福祉協議会]
〒939-8640 富山市今泉83番地1
TEL 076-422-3400

対象：関心のある方は、どなたでも

参加申込み：メール・FAX等でお願いします。
（ハイブリッド方式でも行います。）

主催：NPO法人自立生活支援センター富山

富山市新川原町５－９　レジデンス新川原1F
TEL: 076-444-3753 FAX: 076-407-5557
E-mail:info@cil-toyama.com